

平成28年10月14日

岐阜高校昭和55年卒業生

御見舞金を送っていただいた皆様方へ

暑い夏が過ぎ、ようやく秋らしくなった今日この頃ですが、皆様にはお元気でお越しのことと思います。

さて、5月という極めて早い時期に、皆様から、多額のお見舞金を頂戴いたしましたこと、心より感謝申し上げます。御見舞い金は熊本大学の私共の研究室の学生のために有効に使わせていただきました。お礼がすっかり遅くなってしまいました。誠に申し訳ございません。改めて、今般の地震について、私どものことをご心配いただきありがとうございます。

本震から半年が過ぎました。余震も随分収まって来てはいるのですが、時折震度3程度の有感地震があります。熊本市内は、お城を除いて、殆ど地震の爪痕は外見からは分からなくなりましたが、国道沿いの書店、年に1、2度行くウナギ屋、頻繁に使っていたスーパーマーケット等が解体され現在は更地になっています。また、自宅から最も近い比較的大規模なショッピングモール、映画館（シネコン）、スポーツ用品店等は未だに閉店のままです。また、震源地の益城町は市内とは別世界で、今も、多くの崩れた家々が残ったままです。少しずつは、取り壊されていますが、なかなか進まないのが現状です。

4月14日の前震、16日の本震の際にも私は、静岡県の実家に所用で帰省していたために、「熊本地震」を体感してはいません。一刻も早く帰りたかったのですが、熊本空港は閉鎖、九州新幹線も全面運休ということで、静岡県の実家から高速バスで博多（天神）、博多駅から在来線と路線バスを乗り継ぎなんとか17日の午後には自宅に戻ることが出来ました。自宅は熊本大学から2km程の高台にある6階建てのマンションの3階ですが、食器棚から食器が飛び出して床に飛散、本、プリンタ、カメラ、コンピューターの落下を含めた結構酷い状態だったのですが、幸いなことに顕わな被害は食器類（家内は”お気に入りの食器に限って割れた”と嘆いていましたが）と、プリンタの故障程度でした。17日には電気、ガスも復旧していましたので、私はその日から自宅で寝ましたが、家内と娘は熊本大学の避難所で数日を過ごしました。

一方、勤務先の熊本大学工学部は甚大な被害でした。工学部は高層の建物が多く高層階ほど揺れが酷く多くの研究機器、器具が使用不能になりました。ちなみに、私の研究室は3つの建物に分散しているのですが、8階建ての7、8階、6階建ての4、5階、6階建ての6階に機器室、実験室がありますので甚大な被害でした。結果的に、今般の地震での熊本大学の被害は、文科省、政府（国家予算）で手当てされることとなりましたが、半年経った今でも新たに納入された機器類はまだありません。11月以降今年度中には順次納入されることにはなっていますが。。。

研究室の学生は建物の安全確認が取れた後、工学部長からの入館許可が出て、連休明けの5月9日には戻ってきました。学生が使用していたコンピューターやレーザープリンタなどは殆ど使用不能な状態でしたが、皆様から頂いた御見舞い金をハードディスク、メモリー、CPUなどのコンピューターの部品、レーザープリンタ、トナーなどの事務機器の購入に充てることができましたので、比較的早い時期に学生の環境は整ったと思います。ただ、前述の通り、主要な研究機器類が使用不能（未納入）であるため、現在は数名の学生を他大学で預かっている状況です。

昨日、本々とNHKの朝イチでは熊本地震から半年ということで阿蘇、西原村の特集を行っていました。前述の通り、熊本市内は熊本城を除いては、一見正常に戻っているように見えますが、益城町、西原村、阿蘇では生活基盤の再建にはまだまだ時間がかかる状態です。また、阿蘇神社、熊本城などの重要文化財の再建には、「可能な限り元の材料（素材）を使う」ことになっているようで、非常に手間、時間、お金がかかります。

このような状態ですが、我が家は、みんな前向きで、また、忙しくしていることもあって、元気です。ご安心ください。まずは、多額のお見舞金を頂戴いたしましたこと、重ねて感謝いたします。御礼状が大変遅くなりましたこと、平にご容赦ください。

まずは、メールにてまた乱文ながら、お礼まで。ありがとうございました。

勤務先 860-8555 熊本市中央区黒髪2-3 9-1

熊本大学大学院先端科学研究部（工学系）

工学部物質生命化学科

nisiyama@kumamoto-u.ac.jp

096-342-3657

昭和55年岐阜県立岐阜高校3年1組（金武組）卒業

西山勝彦